

研究種目： 基盤研究（A）
 研究期間： 平成 18 年度～平成 21 年度
 課題番号： 18203024
 研究課題名（和文） 近代的な経済発展における市場制度の形成と生産組織の変化に関する歴史分析。
 研究課題名（英文） Historical study on institutions of markets and organizations of production in modern economic development.
 研究代表者
 中林 真幸
 東京大学・社会科学研究所・准教授
 研究者番号：60302676

研究分野：

科研費の分科・細目：

キーワード： (1) 経済史, (2) 経営史, (3) 企業理論, (4) 産業組織, (5) 比較制度分析

1. 研究計画の概要

本研究は研究代表者、分担者、および研究協力者によって、具体的な工程毎に区分された各班から成る以下の研究組織を構築し、実際の共同作業を進めることになる。19 年度に各班の成果を共有するための国際会議を開催し、大きな成果を挙げたことを承け、本年度は 8 月に国際会議を開催する予定である。共同で開催される研究会議とは別に、各班、各自の成果は日本およびヨーロッパの学会において報告される予定である。

歴史理論班 中林真幸(班責任者)、石黒真吾、瀧井克也、山本和博。

企業班 精澤歩(班責任者)、中林真幸、石黒真吾、石田潤一郎、清水崇、瀧井克也、雨宮昭彦、中村尚史。

市場班 鈴木俊夫(班責任者)、中林真幸、堀井亮、大土井涼二。

産業集積班 中林真幸(班責任者)、山本和博、橋野知子。

比較法制度班 中林真幸(班責任者)。

2. 研究の進捗状況

本計画においては研究代表者および分担者は理論と実証に大別される各班に分かれ、それぞれ制度および組織と経済発展の関わりに関する研究を遂行することになっており、今年度、理論班は特に企業組織と産業集積の分析において、実証班は産業集積の分析において顕著な進展を見た。まず、理論班においては契約理論に基づく階層型企業組織の分析と、成長理論に基づく人的資本投資の

分析、そして都市経済学理論に基づく生産技術選好の分析について中間的な成果を提出することができた。一方、実証班においては日本各地の機業地域および機械工業地域に対する史料調査、フランスの機業地域に対する史料調査、およびアメリカ議会図書館への史料調査が精力的に展開された。

また、本計画においては、これら各班の分担する研究計画の遂行と同程度に重要な事業として、研究代表者および研究分担者の全員が共同で参加する「制度と組織の経済学」研究会を定期的に開催し、担当している成果の中間発表を行うとともに、関連する研究分野において顕著な成果を挙げている外部の研究者を国内外から招聘し、知見の交換とそれに基づく新たな分析視角の模索に力を入れている。月例研究会と秋季および春季の研究会議を開催したが、毎回、参加者の研究水準に支えられた、熱の籠もった議論が展開された。定例開催 4 年目に入る本研究会は、制度および組織と経済発展との関わりを考察し、新たな知見を生産する場として、既に国内最高の研究拠点、そして世界的も有数の研究拠点となりつつある。本研究会の重要な特徴のひとつは、完成された学説の披瀝ではなく、若年研究者を中心とした研究者の生産途上にある知見の交換にある。外国研究者を招聘する場合にも多くの場合、Assistant Professor 級研究者の招聘による水平的な知見交換網の構築に力点を置いている。その成果は最終年度を中心とした国際学会における共同研究成果の発表に活かされるはずである。

3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している。

(理由)

定例研究会を中心に、代表者と連携研究者が頻りに会合を持ち、情報・連絡を緊密にしていること。

4. 今後の研究の推進方策

計画通り、最終年度における研究課題の完成を目指す。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 47件)

- Junichiro Ishida, Noriaki Matsushima, “Should Civil Servants be Restricted in Wage Bargaining? A Mixed-Duopoly Approach”, *Journal of Public Economics*, 93, 2009, 634-646, 有
- Masaki Nakabayashi, “Imposed efficiency of the Treaty Port: Japanese industrialization and Western imperialist institutions,” *ISS Discussion Paper Series, F-142*, Institute of Social Science, The University of Tokyo, December 2008c, 無.
- Katsuya Takij, “Fiscal policy and entrepreneurship,” *Journal of Economic Behavior & Organization*, Vol.65, 2008, 592-608, 有
- Kazuhiro Yamamoto, “Technological progress, income inequality and fertility,” *Journal of Population Economics*, 21, 2008, 518-532, 有

[学会発表](計 31件)

石黒真吾, 契約構造の変化と経済発展: 動学的一般均衡アプローチ, 日本経済学会秋季大会, 2008年9月14日, 近畿大学

Masaki Nakabayashi, "Rise of the Japanese fiscal state, Department of Economics," Workshop on Political Economy of Early Modern Institutions, 2008年4月12日, Bogazici University (Bosphorus University), Istanbul.

[図書](計 9件)

鈴木良隆・橋野知子・白鳥圭志, *MBAのための日本経営史*, 有斐閣, 2007, 320p

[産業財産権]

出願状況(計 0件)

取得状況(計 0件)

[その他]

<http://sites.google.com/site/theoeio/>